

第 1 回審議会でもいただいたご質問、ご意見等について

2026. 8. 21

No.	ご質問・ご意見等の要旨	回 答
1	・熊本地震から 10 年が経過し、益城町では 4 車線の道路開通や区画整理など一定の復興整備も進み、町の状況も大きく変化した。また半導体関連企業の進出も今後期待できる場所である。そこで、町民アンケートとは別に、企業進出ニーズや町に対する要望など町内外の商工業者の意見も聞いてはどうか。	担当課（産業振興課・商工観光係）において、町内外の商工業者のご意見等の情報を持ち合わせていると認識しています。 これらについては、各課係へのヒアリングを通して、計画に反映していきます。
2	・ 10 年間の土地利用、交通、商工業、保育園等や小中学校の児童数などなど、どのように変化したか客観的データを知ったうえで、議論したほうがよいのでは。	今後、具体的な町の施策を議論いただく審議会におきまして、参考となる資料をご提供いたします。
3	・ 色々なコミュニティの中からまちづくりに対して意見等があれば、審議会に取り上げていただく事は可能なのでしょうか。	幅広い分野でご活躍されている皆様にお集まりいただいておりますので、それぞれのコミュニティの観点から、皆さんからのご意見をぜひお願いいたします。
4	・ まちづくり計画はどこか業者をいれて実施しているのか。まちづくりの具体的にすすめるうえでは必要かと思います。	地震後、復興やコミュニティについてのそれぞれの地区で「復興まちづくり計画」を策定していました。 現在は、まちづくり計画を委託して策定することはしていません。
5	・ パブコメを集めるのが目的ではなく、意見をすいあげる仕掛けが必要かと。	市民参加型合意形成プラットフォームを活用するなど、効果的なご意見の収集方法を検討します。
6	・ 農業の基盤整備について心配だというご意見をいただきました。	ご指摘のとおり、農業基盤の重要性を踏まえ、総合計画へ反映させる方針です。

No.	ご質問・ご意見等の要旨	回 答
7	第2期基本計画について 1 将来の目標人口（P16） 町長からの話にもあったが、4月末（3月末？）町の人口は震災前の約34千人に回復。推計値の出し方は高位推計、中位推計、低位推計とあるが、低位推計の32千人を採用した理由は？中位推計は36千人なので、目標値は中位推計でよかったのでは？	第2期計画策定時の（現行の人口ビジョンの1つ前である）第2期人口ビジョンを推計値としています。 （ご質問で言われている、数値は第3期人口ビジョンを指しておられると推測します。）
8	第2期基本計画 2 都市計画道路益城中央線（P27） P17の地図で確認ができませんが、どこですか？	県道熊本高森線のことを指します。都市計画法上の名称が都市計画道路益城中央線で、道路交通法上の名称が県道熊本高森線となります。
9	第2期基本計画 3 公共交通の充実（P30） 乗合タクシーの充実と記載されているが、以前目的地に健軍電停、日赤、熊本市民病院を追加してほしいと要望した。ワークショップでの意見でも「市電まで大変。町にもっと行きやすくしたい」とあったが、熊本駅に行くのに市電まで乗合バスが利用できればありがたい。今度作成する第3期計画に記載すべき事柄でないが、健軍電高度医療を担う熊本市民病院、日赤などを目的地に追加してほしい。	公共交通については、人手不足により、路線の減少が起きています。町でも木山・広安循環線は廃止され、産交バスの快速たかもり号についても今後の運行について検討されているところです。 町は、町内での交通利便性向上を目指し、「のるーと UME らいん」や「益城・西原空港ライナー」を運行しています。 乗合タクシーは、主に町内の生活圏内移動を支援する「地域コミュニティ交通」として運用しています。この地域コミュニティ交通は、地域の居住地や生活利便施設等を結ぶことを主な目的としており、広域をカバーする地域幹線（路線バス）と役割が異なるため、熊本市内の主要施設など地域外への直接運行は困難であります。他市町村（特に熊本市）への交通結節の必要性は認識しており、町単独ではなく、熊本連携中枢都市圏等の既存の枠組みを活用し、他自治体や交通事業者と連携を図りながら検討していく方針です。

No.	ご質問・ご意見等の要旨	回 答
10	第2期基本計画 4 農林業の振興（P37） 成果指標に新規就農者数が挙げられているが、農業の担い手である農業従事者も成果指標にあげるべき。町も農業従事者は毎年減少していると思われ、減少すれば農業生産額も比例して減少するであろうから、大事な成果指標となる。 その際、新規就農者は括弧内書きにしてはどうか。	ご指摘のとおり、農業従事者数についても大事な指標であると認識しています。農林業センサスで把握できるものの、5年に1回の実施です。 第2期基本計画策定の際には、「辞めさせない、続けてもらう」という動きよりも、「新たに始めやすい環境を整える」という方針であったため、左記の成果指標としました。 当時の審議会で、指標の数値の取りやすさ、成果の見えやすさについての議論を経て、この成果指標となっています。
11	第2期基本計画 5 防犯等の推進（P93） 最近、特殊詐欺やアプリを使った詐欺が増えていて特に高齢者が被害に遭っている。防犯等の教室を開催すると記載されているが、警察等から来てもらってそのような教室は開催されたのか？町の高齢化率は30%なので高齢者対策としても必要と思われる。	ご指摘のとおり、高齢者の皆様が安心して暮らせるためにも、防犯対策は必要であると認識しています。 防犯教室の開催につきましては、県警より派遣いただいております職員が、防犯教室を開催しております。